



◇ 今回は、第6回さくら塾「義肢装具と障がい者スポーツ」についての報告です

日時： 平成29年9月14日(木) 16:40~17:50

場所： 本校教室 講師： 堀江耕太氏(義肢装具士、本校卒業生)

内容： 「義肢装具と障がい者スポーツ」 参加者： 希望者5名

義肢装具士として活躍中の本校卒業生、ヒューマンック株式会社取締役の堀江耕太さんをお招きし、義肢装具と障がい者スポーツについてのセミナーを開きました。堀江さんが持参されたカーボン搭載のホッピング(下段写真右)を使い、その効果を実際に確かめることができました。



<生徒の感想より>

義肢装具士の堀江耕太さんから、パラリンピックで使われている義足についてのお話をうかがいました。義足は、利用者の負担が少しでも減るように 軽いカーボン素材が使われているそうです。しかし、実際に手にとってみると 片手では重いと感じるほどのものでした。なぜ義足はこんなに重いのか質問してみると、便利なものにするためにはこのくらいの重さが必要だということでした。軽さを重視すれば、義足ではなく松葉杖のほうがよいに決まっています。しかし、松葉杖では足首の部分が自由に曲げることができず、転んでしまうかもしれません。そして何よりも不便です。利用者は松葉杖より重くても、使いやすく便利な義足を望んでいると思います。

また、義足をより使いやすくするために、義足をコントロールすることのできるアプリがあるそうです。このように、現代では義肢装具の技術がとても高くなってきています。それらを使うことによって、パラリンピックの記録がどんどんと伸びていき、オリンピックの記録を越えていきそうです。今回のさくら塾で、私たちが今まで知らなかったことを知り、障がい者スポーツやパラリンピックに対する関心を深めることができました。

これまでの SGH のフィールドワークやセミナーで学んだことを生かしてさらに研究を深め、みなさんに障がい者スポーツやパラリンピック、義肢装具に関心をもってもらえるよう頑張りたいです。